

相談支援部会としての地域課題の整理（意見交換）

これまで自立支援協議会や各部会において、多くの地域課題があげられてきました。その中でも相談支援部会では、“相談”部分の地域課題について、以下の3つの項目に整理しています。

いずれも「板橋区障がい者計画 2030」に掲げられる重要課題ですが、限られた会議時間の中で集中的に取り組むため、“相談支援部会として、力を入れていきたい取組”について、裏面などもご参考のうえ、改めて部会員のご意見をお聞かせください。

頂いたご意見は、来年度以降の相談支援部会の活動に活かしていきます。

相談支援部会で担う地域課題

地域生活支援拠点等の 体制整備に関すること

- ①地域生活支援拠点となる相談支援事業所の増加（安心支援プランの運用の検証）
- ②医療的ケアが必要な方や行動障がいがある方への相談支援体制の構築
- ③24 時間 365 日の相談支援体制の構築

基幹相談支援センターの 機能強化に関すること

- ①区内相談支援体制の強化
- ②相談支援専門員の育成
- ③地域移行・地域定着事業の推進

相談支援・障がい児相談支援の 充実に関すること

- ①計画相談支援の理解促進・関係機関との連携
- ②児童を対象とする相談支援事業所の確保

※資料1『基幹相談支援センターの事業報告』に記載の地域課題も参考としてください。

＜ 相談支援部会の意見を活かして取り組んでいる内容（参考）＞

地域生活支援拠点等の
体制整備に関すること

- ・相談支援部会での意見や他自治体の取組を参考に『安心支援プラン』の運用、検証を行い、介護者不在等の緊急時に支援機関につながりやすい仕組みの構築
- ・地域生活支援拠点となる相談支援事業所を増やすための周知・啓発
- ・地域生活支援拠点等の運営会議の報告、意見交換

基幹相談支援センターの
機能強化に関すること

- ・基幹相談支援センターの、事業所訪問による、区内相談支援体制の強化
- ・相談支援事業所実務担当者連絡会にて意見交換会や学習会等を実施
- ・基幹が関係機関に対し、受け入れ可能な対象者や利用の流れ等の情報を聴き取り、情報をまとめた支援者向けガイドブックを作成

相談支援・障がい児相談支援の
充実に関すること

- ・基幹相談支援センターと各相談支援事業所間で「連携体制の強化」
- ・セルフプラン利用者等が計画相談支援に関心を持ってもらう機会の創出
『計画相談支援出張 説明会』
- ・相談支援体制の充実に向け、セルフプラン率（板橋区）の推移及び傾向から課題を抽出し、その解決策を検討

«記入シート»

地域生活支援拠点等の体制整備に関すること

例：（課題）『安心支援プラン』の対象者にならない人への相談支援体制の構築

（理由）『安心支援プラン』は対象者が限られるため

（取組内容）安心支援プランに該当しない対象者用の緊急時対応プランの書式を作成する。

（課題）

（理由）

（取組内容）

基幹相談支援センターの機能強化に関すること

例：（課題）人材育成の方法について

（理由）福祉の人材不足、人材育成が大きな課題

（取組内容）研修を計画的に企画し、事業所の育成的な視点を取り入れる。

（課題）

（理由）

（取組内容）

相談支援・障がい児相談支援の充実に関すること

例：（課題）障がい児のセルフプラン率増加。

（理由）障がい児通所施設の急激な増加で障がい児の計画相談支援が追いついていない。

（取組内容）通所以外のサービスを併用する場合や児童から成人移行時に計画相談支援に繋げる周知。

（課題）

（理由）

（取組内容）